

図書館利用者と南田中図書館長との懇談会

- 1 日時 平成 26 年 11 月 8 日（土） 10 時～11 時 40 分
- 2 場所 南田中図書館 2階 会議室
- 3 参加者 利用者 22名
図書館職員 3名（南田中図書館長、館長代理 2名）
- 4 配布資料 (1) 「地域活動と図書館の活用～これからの南田中図書館にできること」
レジュメ
(2) 練馬区立図書館ビジョン（概要版）
(3) 南田中図書館紹介パンフレット
(4) 南田中図書館だより11月号
(5) 地域史「団地のあるまち－南田中団地周辺の記憶」（回覧）
(6) 練馬ブックマップ
- 5 次第 (1) 南田中図書館長あいさつ
(2) 図書館職員紹介
(3) 配布資料説明・事業紹介等
(4) 出席者紹介
(5) 懇談
(6) 南田中図書館長あいさつ

図書館利用者と南田中図書館長との懇談会 要録

1 南田中図書館長あいさつ

本日はお忙しい中、またお寒い中、皆様お集まりいただきありがとうございます。

南田中図書館長の正子と申します。本日はよろしくお願いいたします。

図書館利用者様と館長との懇談会は、毎年1回、今年度は区内10館で開催しています。日頃の利用者様の意見をお伺いして、今後の事業や運営に反映していこうという目的で実施しています。今回、南田中図書館ではテーマを「地域活動と図書館の活用～これからの南田中図書館にできること」に設定しましたが、テーマにかかわらず日頃の図書館に対するご意見・ご要望を伺い、今後の運営に活かしていきたいと思っております。どうぞ厳しいご意見も含め、忌憚のないご意見をお聞かせください。また、こうして地域の方々にお集まりいただける機会ですので、私も含めまして皆様の間での意見交換の場にできましたら幸いに思います。

一件お願いとなりますが、11月15日に光が丘図書館で「練馬区立図書館を考える」というテーマで懇談会が開催されます。区立図書館全体に係わる問題、例えば図書館システムなどに係わるご意見につきましては、こちらでもご意見は承りますが、できれば光が丘図書館での懇談会でお聞かせいただければと思いますので、ぜひご参加ください。

2 図書館職員紹介

南田中図書館長よりプロフィール、自己紹介、館長代理紹介

3 配布資料説明・事業紹介等

- (1) 「地域活動と図書館の活用～これからの南田中図書館にできること」レジュメ
 - ア 「ご近所図書館」南田中図書館のめざすこと
 - イ 南田中図書館の重点項目
 - ウ 地域連携事業3つの柱
 - 地域情報の収集と発信、地域連携事業、まちづくりサポート
 - エ この一年間の主な地域連携事業紹介
- (2) 地域史「団地のあるまちー南田中団地周辺の記憶」(回覧)
 - ア 南田中図書館で編集した地域史資料、2014年8月1日発行、200部
 - イ 地域の方々に執筆、監修協力をいただいて完成
- (3) 練馬ブックマップ
 - ア 大泉・貫井・南田中図書館の3館合同編集、2013年12月発行、2014年10月改版
 - イ 練馬区内で、本を読む・借りる・買える場所約100か所を紹介
- (4) 練馬区立図書館ビジョン(概要版)
 - ア 平成25年6月に制定
 - イ 今後10年間の練馬区立図書館サービスのあり方の方向性を示したもの

4 出席者紹介

出席者より簡単な自己紹介、南田中図書館利用の感想、団体活動内容等のご紹介

5 懇談会

図書館 本日は多くの地域の方々にご参加いただけてうれしく思います。まずは、皆様の方から、これからの南田中図書館にできることとしてご意見やご要望、また、こんな所が足りないのではというご意見をお聞かせいただくことから始めたいと思います。すがいかででしょうか。

利用者 今日はこれだけ多彩な活動をしている方々が集まっているわけですから、外遊と言いますか、図書館の周りを巡って例えば草や花などを紹介したり教えてもらえる様な企画・チャンスを作っていただけたら是非お願いしたいと思います。

図書館 実は今日ご参加の方で“野菜ソムリエ”の資格をお持ちの方がいらっしゃり、講師にお招きしてこの10月に「身近な野草の活用術 ～みわける・つむ・たべる～」という事業を開催しました。

利用者 私は「練馬みどりの機構」に入っておりまして、憩いの森の調査などもおこなっています。そこでこの近辺にも食べられる野草が多いことに気づきまして、“野菜ソムリエ”の資格から“野草ソムリエ”として「道草を食べる会」を主宰しています。この図書館で、食べられる草や毒の草の見分け方、それぞれの草の料理の仕方などをパネルにして展示させてもらい、またその講演会をやらせてもらいました。図書館の周りをまわって、観察会もやろうと思ったのですが、残念ながら台風の影響で中止になりました。来年の4月か5月頃、おいしい草がたくさん生えている時期に、ぜひ観察会をやらせていただきたいと思います。

- 図書館 皆様がお知りになりたいことやご要望等を直接お会いして伺う機会を増やしているつもりですが、前回の懇談会でも、こういう事業をやってほしいですとかやりたいといった意見を吸い上げる仕組みが無いという指摘をいただいています。その取り組みの一つとして、館内にご意見箱の設置を検討していますがどうでしょうか。
- 利用者 良いですね。ふだん行事の時にアンケートをとられていて、そこで吸い上げることはできるでしょうが、参加されていない方は窓口が無いんですよね。
- 利用者 大泉図書館では新しい館長になって、今、ご意見箱の設置を実施していますね。
- 利用者 ご意見箱の結果を、名前等を出さないように配慮して掲示すれば良いんじゃないでしょうか。
- 利用者 ご意見箱にしても何にしても、これまで回答の無いことが多かったのも、それは何とかした方が良いのではないかと思います。
- 図書館 早急に実現できるよう検討します。
- 利用者 行事やイベントの後でアンケートでとっている、今後要望する催しについての要望についても、どういうものがあつたか発表して欲しいですね。
- 利用者 それに関連しまして、私が先日伺った長野県小布施町の図書館は、開館にあたって計画段階から公募も含め運営委員を町民から募って議論し、まちづくりをキーワードに広く町民に開かれた運営を実施しています。南田中図書館ではスタッフの皆さんがそれぞれ企画を出し合って立てているのは知っていますが、例えば、こういう地域の方々の思いを定期的に拾い上げる運営委員会の様な場を、年一回ではなくもう少し頻繁におこなって、話すことによって作って行くという場作りというのはいかがでしょう。
- 利用者 その時に、一般利用者やボランティアの方などの参加も呼びかけてはいかがですか。
- 図書館 そういう場が実現できれば面白いと思います。今回も少し心配していたのですが、懇談会のテーマが広くなりすぎて、高齢者サービスや児童・青少年サービスなど、それぞれのご意見が詳しくお聞きできない場合もあると思います。今後テーマを絞って回数を増やすという方向でやってみたいと思うのですが、いかがでしょうか。
- 利用者 テーマを絞った方がやはり討論しやすいですね。結局、今までの懇談会では利用者の不満を館長にぶつける形が多くて、参加していてもあまり面白くないです。言っている方もいい気持ちはしないです。建設的な意見が出ないことが多いので、一つのテーマを絞って皆さんの意見を聞く、という場を設けることが大切だと思います。
- 利用者 今日のこういう場があるというのはとても良いことだと思います。この会議室が空いているときに、自由参加でやっていくという形もいいと思います。また、同様にこの会議室を利用して、地域の皆さんがどんどん企画を開催して下さいという広報を図書館がやっていくと良いと思います。たぶん場所を借りてやりたいという方はたくさんいると思いますので。
- 図書館 会議室の存在や、利用可能の案内が周知されていないという事も私の責任ですが有ると思います。
- 利用者 会議室という名称のせいもあるでしょうが、地域で子供たちやママさんたち含め

て、色んなことが自由にできるんだよという事を、学校やPTA等でもっと知らせてほしいですね。

図書館 わかりました。

利用者 図書館の良い所というのは、多世代が集まれるところだと思います。私の所属している会では0歳から3歳までのお子さんとその保護者さんが参加されていますが、他の世代の方々とも交流してみたいですね。例えばご年配の方が来ていただいて、読み聞かせをしてくれたりお手玉を教えてくれたりとか、そういうことを少しずつやっているのですが、場所の問題でなかなかできていません。図書館というのは年齢のくくりが無い場所ですので、多世代が係わる場所としてここでできたら良いと思います。また、そういう企画のお手伝いを、私たちの方でできたら良いなと思っています。

それから、特に乳幼児と一緒に参加されるお母さんたちが、ご自身でゆっくりと本を読める時間がなかったりしますので、そういう問題も何とか支援していけたら良いといつも思っています。そういう事を色々と話し合っていきたいです。

利用者 良いかも知れないですね。私たちの会で、ひとり暮らしのおばあさんが、さびしいので何かやりたいとおっしゃっていらしていただいた時に、子供たちに英語を教えてくれた事がありました。

利用者 私は子供と図書館に良く来るのですが、自分の本を結局ゆっくり見られない事がありますね。江古田近くにある“東京子ども図書館”では週に一回子供たちだけが参加するお話会があります。そのお話会の時間は、子供たちは自分たちの世界が広がるという感覚でとても楽しそうだし、大人はその間自分たちの本をゆっくり見る事ができます。そういう感じで、親と子供が少し離れて、離れている時間に先程の例の様におばあさんとかおじいさんとかがいらっしゃれば、良いと思いますね。

利用者 私たちのところでは、お父さんがお話をする会というのもやっています。お父さん方はやはり絵本などに触れる機会が少ないので、こうした機会に自分たちも勉強になるし、その間お母さんはゆっくりできます。お父さんが勉強して本を選んだり読み聞かせをするような企画もいれるべきだと思います。この様な日頃の問題点を話あったり解決策を出し合うような場があると本当に良いと思います。

利用者 この図書館で、近隣の中学生や高校生が子供たちへの読み聞かせを毎年やっているのを知っていますが、ご紹介願えますか。

図書館 毎年「ジュニアreaderおはなし会」として、中学生や高校生の方を募集して、子供たち向けにお話会を開催しています。リーダーとreaderとは、少し掛け言葉的な意味合いもあります。読み聞かせやパネルシアターを実施してくれる中高生の方は、2日間程図書館で練習をするのですが、毎年積極的にたくさんの方が応募してくれています。子供たちも楽しんでくれています。

利用者 今、中学校や高校の取り組み目標として、「社会貢献」という項目が入っていますね。ぜひ練馬区の中学生や高校生の皆さん、また日芸など練馬区の大学生の皆さんに、図書館をキーステーションとして社会に目を向けていただく、そういう繋がり場としても図書館が活用できるのではないかと思います。この南田中図書館は小学校とまさに連結している訳ですから、教育界にも働きかけていけばもっと面白

いことができるのではないかと考えています。例えば“読み聞かせ”というキーワードでここをキーステーションにして、若者のエネルギーを活用する、そういう取り組みができれば面白いと思います。

利用者 関連して一つお聞きしたいのですが、資料にある来館者数の推移というのはどうやって調べているのですか。

図書館 入り口に設置してあるゲート付近にセンサーがあり、そこでカウントのみ数値をとっています。

利用者 わかりました。私が図書館の問題点だと思っているのは、図書館の利用率です。練馬区の70万人の人口に対し、図書館に登録している方は20数万しかいません。またその中でも、図書館に頻繁に来る方というのは一割くらいではないでしょうか。南田中図書館は良くイベントを開催している方だと思いますが、その案内が図書館内がメインとなっているので、練馬区の多くの方はこういったイベントを知らないのではないかと思います。外に向けた活動やアピールが足りない。ですから、ごく一部の方しか図書館を活用できていない、これが今の地域性の問題だと思っています。

利用者 少し補足します。私たちは石神井氷川神社で毎年開催している“井のいち”というイベントに関っていますが、この南田中図書館とも連携してやらせてもらっています。その中で「井のいち文庫」という皆で持ち寄った本を、参加しているお店や施設に設置しています。小さな取り組みではありますが、広報という意味では役に立っているのではないのでしょうか。

利用者 私も「井のいち文庫」は存じ上げています。素晴らしい試みだと思いますし、今後も続けてほしいと思います。こうした外に出ていく活動が広がっていいのですが、まだまだ足りていない現状が問題だと思っています。図書館に今興味が無い方に向けての発信をもっとしていけば、新たな意見も入ってくると思いますね。

利用者 告知の仕方として、公共施設ですので区報しか手段が無いというのが現状と思いますが、別ルートでネットワークは可能だと思います。それ程硬直した状況ではないので、図書館が地域の核となる活動が重要だと思います。

図書館 色々と皆様に協力いただいておりますが、本当に私自身の力不足を感じています。以前落語会を定員100名で初めて開催した時に、ほぼ8割くらいの方から申し込み時に図書館の場所を尋ねられて、とてもショックでした。

利用者 広報に関して、私自身がお友達と一緒にイベントに参加しようと誘う事もあるのですが、ホームページが充実していなくてお知らせするのも少し難しいと感じる事があります。スマホ等でお知らせできるように、ホームページはもうちょっと頑張ってもらいたいです。Facebookか何かあれば良いなとも思っています。

利用者 私は隣の南田中敬老館の者です。ここができて最初の3年間くらいはよく図書館はどこですかという問い合わせをうけたものですが、最近はあまり聞かれないですね。図書館で地図などを作って工夫され、配布している効果が出ているのではないかと思います。

利用者 先程話が出たのですが、図書館ではFacebookは作っているのですか。

図書館 練馬区では作っていますが、図書館としては無いですね。

- 利用者 今、ふるさと文化館では今年の4月からFacebookを作って載せ始めました。今日資料にある様なイベントの情報も出ていまして、結構ビューアーが増えて来つつあります。情報発信のひとつとしておやりになるのも良いと思います。
- 利用者 私は杉並区の図書館にも通っていますが、杉並区では全館のイベントカレンダーを毎月紙で出していますね。私はアナログ人間なので、そういった物もありがたいです。
- 利用者 一人暮らしのお年寄りの方などには、やはり図書館に来てもらって、そこで情報を提供する、そういった来館を促す地道な取り組みも大事だと思います。ここは暖かみを感じる図書館ですので、そういった取り組みにはぜひ協力したいです。
- 利用者 やはり図書館なので、静かに本を読みたいという意見もありますね。
- 利用者 ここは館内のBGMなどは考えていらっしゃいますか。
- 図書館 BGMは考えていません。
- 利用者 先ほど静けさという話が出たのですが、異常な静けさが逆に落ち着かないという感覚が有って、邪魔にならないBGMを流している図書館もあります。過剰な静けさで緊張感を強いられ、足が遠のくということもあるのではないのでしょうか。新しい試みとして挑戦してみるということはいかがでしょう。
- 利用者 確かに完全な無音空間になってしまうと、反対に人間は落ち着かないという事がありますね。私は、BGMというよりも環境音の様なものが静かに流れている、例えば風の音や鳥の鳴き声や水の流れる音など、そういった環境音のある空間というものが、本当は静けさを求めるべき公共施設で研究していくテーマであると思いますね。
- 利用者 面白いですね。森の中で本を読むとか、公園で本を読むとか、そういう感覚があって面白いかもしれないですね。
- 利用者 この図書館を造る際の建設懇談会で、隣に公園が有るので、そのベンチで本が読めるようにという提案をしたことがあります。またすぐ北にある南田中憩いの森の中で、鳥の声を聞きながら本を読む、そういった環境であってほしいと思います。こういう音に対する取り組み方はこれまであまり公共図書館ではやってこなかったもので、研究してみたいテーマですね。
- 利用者 実験してみれば良いのではないのでしょうか。私は休憩・飲食スペースでほんの小声で会話ただけで、遠くの方から注意されたことがあります。環境音が流れていればそういうことも無かったかもしれません。
- 図書館 実例を調べてみたいですね。
- 利用者 神奈川県立美術館の別館が、常時かどうかわかりませんが、開館から閉館まで含めサウンドデザイナーの方によって考えられています。
- 利用者 数年前からCDなどで、そういった音楽が多く出てくる様になりましたね。
- 利用者 思うのですが、鳥の声ひとつ取っても、鳥が嫌いな方などもいらっしゃるでしょうし、本当にそういうプロの方が携わってデザインされた音だったら耐えられるのかもしれませんが。私は個人的に、BGMが流れていたら図書館には来ないですね。図書館の静けさが好きですし、無音という訳ではないですが、ページをめくる音や、ひそひそ声も含めてそういう静けさが図書館だと考えています。自分の子供にも図

書館では静かにしようねと伝えています。子供は子供で、静かにしなければいけない場所があるということを学ぶきっかけになる、と考えています。ですからBGMには反対ですが、プロの方が考えた環境音でしたら有りうるのかなとは思いますが。

利用者 本当に窓が開いていて、自然の音だったら良いでしょうね。

利用者 図書館それぞれの、例えば南田中や大泉、それぞれの自然の“場”の音というものがありますよね。それが良いと思います。

利用者 やはり周囲が全くの自然というわけでは無いので、どうしても人工音が入ってきますね。

利用者 せっかくこういう場があるのですから、これだけ議論もできましたし、一度チャレンジされてはどうですか。

図書館 まず、事例や専門家の研究の調査から検討を始めたいと思います。

利用者 今日話し合った中で、ひとつのキーワードとして“環境”というものが見えてきた気がします。石神井公園や三宝寺池に近く、自然に恵まれた中にあり、また、練馬区に縁の深かった故・手塚治虫氏のメッセージ「ガラスの地球を救え」に沿って、開館当初から環境問題に重点的に取り組んでいる南田中図書館はまさにうってつけの場所にあります。生物多様性の紹介や、子供たちへの“いきものおはなし会”の開催など、ここの取り組みは次世代へつなげていく試みとして、素晴らしいと感じています。手塚治虫氏に特に縁の深かった富士見台商店街から、三宝寺池までを線や面でつなぐ試みを提案しようと考えています。南田中図書館も巻き込んでぜひ実現したいので協力をお願いします。

利用者 それに関連して一つ気になったのですが、資料の中にある森の中の図書室の様な写真はありますか。

図書館 これは2年前の石神井氷川神社での“井のいち”で作った「森の図書館」です。

利用者 今は木造で違った形になっています。これは普段は入れない境内の奥に、段ボールで作った物なのですが、とても雰囲気があってよかったですね。

利用者 私はこれまでも色々な図書館で懇談会に参加してきましたが、今回とても充実していました。これまでですと、館長と利用者との対話がほとんどで、こうした利用者お互い、相互の会話がなかったですね。とても有意義でした。先程からもあったように、例えばBGMといった一つのテーマで懇談会をすれば、皆さんから色々な意見が出ると思います。予約や図書館の利用法についてなど、具体的なテーマでもっと頻繁に開催されたら良いと思います。

図書館 承知しました。検討いたします。

利用者 2点程、思ったことがあります。1点目は、ここの図書館を使っけてお子様やお母様、男性の方は多いと感じていますが、女性のお年寄りの方が少ない様に思います。一人暮らしのおばあさんが気軽に訪れることのできる図書館になって欲しいと思います。敬老館などには足を運ばれますが、子供たちとの交流を持ちたいと思っているお年寄りがたくさんおられると思います。もう1点は、バリアフリーということです。図書館は誰のためにあるのかと考えた場合、視力の悪い方や色覚障害のある方などが、より図書館を使えるようにするにはどうするか、このテーマで懇談会を開催されてはどうでしょうか。

- 利用者　　私たち敬老館が隣接しており、非常に恵まれた環境だと考えています。連携してやっていきたいと思いますのでよろしくお願いします。
- 利用者　　隣の公園や2階のテラスは使えないのでしょうか。
- 図書館　　公園に関しては青空紙芝居で、許可を取って使用した実績があります。
- 利用者　　子供を連れてきたときに、お母さん同士で少しお話をしたり、子供が息抜きをしたりする場所としてテラスが使えたらありがたいのですが。
- 図書館　　2階のテラスは開館当初から活用が課題となっています。夏休み期間中の“パラソル図書館”や、“いきものおはなし会”の開催などで徐々にですが活用を進めています。構造上、カウンター職員から目が届きにくい位置にあり、安全面が一番の課題と考えています。その辺りの見直しや、柵を乗り越えられないような改良を検討しています。将来的には休憩や飲食スペースとして開放したいと思っています。
- 利用者　　正面入り口前のスペースや、正面にある神社の境内などの活用も面白いのではないですか。小布施町の様に、利用者さんが本を持ち寄って古本市を開催したりする事例もあります。
- 利用者　　私は既に3回程、この近辺の音を聞きながら歩くという「みみをすます」というワークショップの開催に係わらせてもらっています。先程の環境音もそうですが、周囲の環境やスペースなど、参加されると新たな発見があるかもしれません。
- 利用者　　私の団体が関わっているお母さま方の中で、南田中図書館は雰囲気が良いと、遠くの方からもとても好評です。その一つの要因として、1階と2階が大人と子供たちのスペースとして分かれていることが有ると思います。いろいろな取り組みをされるにしても、この雰囲気を維持していただけるとありがたいと思っています。

6 南田中図書館長あいさつ

本日は、たくさんの貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。皆様の要望を受け取る手段としてのご意見箱の設置や、テーマを絞った懇談会の開催など、今日のご意見をもとに進めていきたいと考えております。また、広報に関してですが、私たち図書館が拠点となって情報発信をおこなうことはもちろんですが、今日ご参加の皆様方相互の間で情報の交換や発信をおこなっていただく事は可能でしょうか。図書館経由でも構いません。皆様の取り組みを区民の方々に広めるお手伝いができたら幸いに思います。スペースの使い方や音も含めた空間の検討についても、専門の方の意見を聞きながら進めていきたいと思っています。

また、今後は館主催のイベントでなくても、南田中図書館で地域の方々が行事を開催していただける様になると本当にうれしく思います。

本日は貴重なお時間をいただき、また貴重なご意見をいただき本当にありがとうございます。